

## 28年6月分

## 製品市場の荷動き・価格先行き動向調査

1. 調査実施期間 平成28年6月1日～ 28年6月10日

## 2. 調査実施方法

全国の製品市場に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。  
6月分の回答企業数は9社である。

## 3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={(「増加」の評価を行った回答の割合)×2+(「やや増加」の評価を行った回答の割合)-(「減少」の評価を行った回答の割合)×2-(「やや減少」の評価を行った回答の割合)}÷2  
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

## 4. 調査結果の概要

## (1) 荷動き動向 Weight. D. I.

品目		28/6月	7月	8月
入荷動向	国産材製材品	5.6	△ 5.6	0.0
	外材製材品	△ 16.7	△ 5.6	0.0
	その他	0.0	0.0	△ 8.3
販売動向	国産材製材品	0.0	0.0	0.0
	外材製材品	△ 16.7	△ 11.1	△ 11.1
	その他	0.0	△ 8.3	△ 16.7
在庫動向	国産材製材品	0.0	△ 5.6	△ 11.1
	外材製材品	△ 5.6	△ 5.6	△ 11.1
	その他	0.0	0.0	0.0

・国産材製材品の入荷は6月の増加が、7月は減少し、8月は横ばい。外材は6月、7月の減少が、8月は横ばい。その他は6月、7月の横ばいが、8月は減少。

・国産材製材品の販売は3ヵ月連続して横ばい。外材は3ヵ月連続して減少。その他は6月の横ばいが、7月、8月は減少。

・国産材及び外材の製材品在庫は一部横ばいがあるものの、総じて3ヵ月連続して減少。その他は3ヵ月連続して横ばい。

## (2) 価格動向 Weight. D. I.

品目		28/6月	7月	8月
スギ	柱角 KD10.5×3	0.0	0.0	5.6
	柱角 KD12×3	0.0	0.0	5.6
	通し柱 12×6	0.0	0.0	0.0
	桁角	0.0	0.0	0.0
	母屋角	△ 5.6	0.0	5.6
	タルキ	0.0	0.0	5.6
	間柱	△ 5.6	0.0	5.6
	加工板	0.0	0.0	0.0
	ヌキ	△ 11.1	0.0	5.6
	平割	△ 11.1	0.0	5.6
ヒノキ	柱角 KD10.5×3	0.0	5.6	11.1
	柱角 KD12×3	0.0	0.0	5.6
	土台角 10.5×4	5.6	5.6	11.1
	土台角 12×4	0.0	0.0	5.6
	通し柱 12×6	6.3	6.3	6.3
カラマツ土台角10.5×4	25.0	25.0	25.0	
米マツ平角	△ 22.2	△ 5.6	△ 5.6	
米マツ割物	△ 25.0	△ 12.5	△ 12.5	
北洋エゾマツタルキ	12.5	12.5	12.5	
北洋アカマツタルキ	0.0	7.1	7.1	

・スギ製材品の価格は、6月の保合いないしやや弱保合いが、7月は横ばい、8月はやや強含み。

・ヒノキ製材品の価格は、6月、7月の保合いないしやや強含みが、8月は全品目がやや強含みに。

・カラマツ土台角の価格は強含みで推移。米マツ平角及び割物は、弱含みで推移。

・北洋エゾマツタルキ及び北洋アカマツタルキは、やや強含みで推移。

モニターからのコメント

(荷動き)

- ・スギ・ヒノキは順調な入荷。米材・北洋材はやや減少（関東）。
- ・スギ・ヒノキは入荷順調。WW 間柱27mm×105mm×3mは依然として入荷不足。全体に仕事なく、記念市でも国産材・外材共に動き悪い。在庫は国産材・外材やや増加（関東）。
- ・プレカット以外は販売悪く入荷を抑えている。販売は全体に良くない。在庫は5月と変わらず（中部）。
- ・入荷に変化なし。販売は、3月後半～4月よりも若干回復、先行き不透明（中部）。

(価格動向)

- ・スギ通し柱は6m×105mm角が上昇傾向。カラマツ集成土台角は商品が減少傾向（関東）。
- ・スギ柱角（KD10.5cm、12.0cm）58,000円/m<sup>3</sup>、スギ桁角（東北グリーン材）40,000円/m<sup>3</sup>、母屋角（東北材二等材）25,000円/m<sup>3</sup>、スギタルキ（東北材）45,000円/m<sup>3</sup>、スギ間柱（KD）58,000円/m<sup>3</sup>、スギ加工板（グリーン材）東2,600円、（KD）東4,000円、スギヌキ（東北）36,000円/m<sup>3</sup>、秋田36,000円/m<sup>3</sup>、スギ平割（プレーナー）42,000円/m<sup>3</sup>、同（ラフ）36,000円/m<sup>3</sup>、ヒノキ柱角（KD）・土台角10.5cm 80,000円/m<sup>3</sup>、ヒノキ土台角12.0cm 80,000円/m<sup>3</sup>、米マツ平角 KD65,000円/m<sup>3</sup>、米マツ割物AD 65,000円/m<sup>3</sup>、北洋アカマツタルキ（アSEMBル単価）（S）68,000円/m<sup>3</sup>、（P）58,000円/m<sup>3</sup>、（バンドル単価）（S）65,000円/m<sup>3</sup>、（P）55,000円/m<sup>3</sup>。
- ・スギは北陸地方向けは6月も好調、例年になく、その他地域は逆に販売が悪い。ヒノキは東海地方も動き悪くなってきた。米マツは全体的に下がってきた。北洋エゾ・トドマツタルキ、アカマツタルキは依然変わらず（中部）。
- ・スギは特になし。ヒノキは素材減により原木単価は上昇の見込みだが、製品相場上昇のハードルは高い（中部）。
- ・地震の影響で九州からの入荷が減っていたが、徐々に回復。WWの3mは販売好調のため不足気味、4mは在庫過剰。EW 3m、105mm角は欠品状態（近畿）。
- ・目立った変化なし（九州）。